

来春の中学入学 不安解消

上峰小6年生“一日体験”



互いに教え合いながら問題を解く上峰小の児童たち
＝上峰町の上峰中

授業や給食、先輩と交流

上峰町 上峰小の6年生約130人が上峰中の学校生活を一日体験するプログラムがあった。「中一キヤップ」をなくそうと、4教科の授業や生徒会との交流、給食までみっちり経験。児童たちは一足先に入学への不安を解消し、来春からの中学生活

に期待を膨らませた。一日体験入学はクラスごとに実施し、10月31日は6年3組の30人が参加。数学の授業では、正方形のマスに所々数字が書かれたシートを使い、縦・横・斜めのそれぞれ和が同じ値になるような問題に取り組んだ。中学で習う負の数や代数なども挑戦。「マインスの付く数字は引き算と考えて計算してみよう」と同中の姉川良知教諭(35)らが丁寧に指導した。

児童たちは互いに解き方を教え合いながら学習。古本敬輝君(12)は「算数と違って数学は難しそうなイメージがあったけど、授業が分かりやすく安心した」、大石花香さん(12)は「小学校で習うことをしっかりやれば大丈夫だと教わった。これからも勉強を頑張りたい」と語った。

同町は小中それぞれ1校。上峰中で入学説明会や文化発表会での交流などをこれまで実施してきたが、一日体験入学は初めてを試み。上峰中の千々岩英豪校長は「中学生活を肌で知るきっかけになれば。小中の連携を深め、児童がスムーズに入学できるようにしたい」と話した。(川崎剛)